

平成26年度 事務事業総点検シート(1)

事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業							
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育部	部	生徒指導課	課	点検責任者(課長名)	小宅

事業基本情報(必要性)	1	堺市マスタープランの政策体系	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます						
			施策	4	教育・生活環境の充実	2	事業開始年度	H 20 年度			
	3	根拠法令等	教育基本法								
	4	事業実施の経緯	学校園だけでは対応が困難な、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、子どもの置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカーの役割が重要性を増している。								
	5	事業の対象	市立幼小中高等学校園の幼児児童生徒・保護者・教職員								
	6	事業目的	学校だけでは対応が困難な、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題の解決を図ることを目的とする。								
	7	事業内容	スクールソーシャルワーカーを活用し、下記の取組を行う。 ・課題を抱える子どもが置かれた環境への働きかけ ・関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整 ・学校内におけるチーム体制の構築、支援 ・保護者、教職員等に対する支援、相談、情報提供 ・教職員等への研修活動								
		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		<input type="checkbox"/> 業務委託		<input type="checkbox"/> 補助金		<input type="checkbox"/> 負担金		<input type="checkbox"/> その他()	

項目		単位	H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	
事業コスト	8	事業費 (a)	千円	9,837	11,081	12,435	13,354
	主な事業費内訳	スクールソーシャルワーカー謝礼金	千円	9,398	10,521	11,907	12,768
		スクールソーシャルワーカースーパーバイザー謝礼金	千円	304	472	440	360
	財源内訳	一般財源	千円	6,688	7,388	8,747	8,903
		国・府支出金	千円	3,149	3,693	3,688	4,451
		その他()	千円				
9	人件費(再任用、短期臨時職員等含む) (b)	千円	850	830	0	0	
10	事業コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,687	11,911	12,435	13,354	

指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標(有効性)	スクールソーシャルワーカー活用人数	人	目標			8
		実績	6	7	8	
		達成率	%	%	%	
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円	1,781	1,702	1,554	
算出方法・計算式など						
11	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
			目標			
			実績			
			達成率	%	%	%
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円				
算出方法・計算式など						
【数値以外の目標や実績など】						

平成26年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業							
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育部	部	生徒指導課	課	点検責任者(課長名)	小宅

成果指標(有効性)	12	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		不登校生徒出現率	%	目標	3.00	2.90	2.80	2.75
				実績	3.07	2.91	2.78	
				達成率	97.7%	99.7%	100.7%	
	算出方法・計算式など							
	12	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		いじめ解消率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績	98.3	100.0	99.3	
				達成率	98.3%	100.0%	99.3%	
	算出方法・計算式など							
【数値以外の目標や実績など】								

事業点検項目(効率性・妥当性)	指標の傾向の確認(活動指標・成果指標それぞれの経年変化)										
	13	活動実績単位コスト(11)		活動指標の達成率(11)			成果指標の達成率(12)				
		<input type="checkbox"/> 縮減傾向 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 上昇傾向		<input type="checkbox"/> 上昇傾向 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向			<input type="checkbox"/> 上昇傾向 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向				
		<input type="checkbox"/> 関連する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 関連する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 関連する事業はない		統合可能性のある関連事業名			関連事業がある場合、統合の可能・不可能の理由				
	14	民間実施や市民協働の可能性		左記の理由							
		<input type="checkbox"/> 可能性がある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない <input type="checkbox"/> すでに実施している		子どもの置かれたさまざまな環境に働きかけて支援を行うには、教育、社会福祉等の分野で専門的な知識・技能をもつ人材が必要である。							
	15	受益者負担の確認		左記の理由							
		受益者負担の有無	見直しの必要性	市立学校における生徒指導体制の確立は市の責務であるため、受益者負担にはなじまない。							
	16	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
		市民ニーズとの合致性		把握方法・把握していない場合、その理由							
17	市民ニーズの把握		学校からの相談内容を把握している。								
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握していない										
18	比較参考値(政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)		【政令指定都市の状況】								
			堺市SSW8名 横浜市SSW8名 名古屋市SSW13名 京都市SSW10名 福岡市SSW10名								
			【国等の基準との比較】								
		【その他の状況】									

改善取組	19	課題	「活動指標」「成果指標」「事業点検項目」での点検内容を踏まえて記入					
		課題	新規採用のスクールソーシャルワーカーの資質向上					
	20	改善取組	上記課題に対する平成26年度における改善取組					
		改善取組	研修の充実					

事業所管課評価	21	事業の方向性	左記の理由(必要性・有効性・効率性・妥当性を踏まえて記入)					
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	学校だけでは対応が困難な生徒指導上の課題は多く、スクールソーシャルワーカーに対する学校のニーズが高まっているため。					
	22	公金投入の方向性	左記の理由					
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ゼロ	学校だけでは対応が困難な生徒指導上の課題は多く、スクールソーシャルワーカーに対する学校のニーズが高まっているため。					